TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

なぜ泣いているのか？

ヨハネによる福音書 20 章1～17節

2024 年 3 月 30日 & 31 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

主はよみがえりました！復活祭おめでとうございます。今日はイエスが復活した日です。そのことを信じるかどうかによって、その人の人生はまったく違うものになるでしょう。まず祈りましょう。

II. なぜ泣いているのか

(1) 打ちのめされるような出来事

ヨハネによる福音書 20:1-2 を見ましょう。

「[1] 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。[2] そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って、彼らに告げた。『誰かが主を墓から取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。』」

去年、私の母が急性大動脈解離になって、緊急手術を受けたことがありました。数日後、美樹と私はお見舞に行きました。でも病院に行く途中で、美樹が車にはねられてしまいました。結局、私たちは救急車で別の病院に連れていかれることになりました。

最悪の事が起きたと思ったら、今度は事態が悪化してしまいました。マリアにとっても、同じでしたが、もっとひどいことが起きていました。彼女は最悪な事態だと思っていたら、今度は自分の愛する師が十字架にかけられました。そしてさらにひどいことに、彼の遺体は盗まれ、彼女はまともに彼の死を嘆き悲しむことさえできなかったのです。



(2)目撃者の証言

3-7 節:

「[3] そこで、ペトロともう一人の弟子は外に出て、墓へ行った。[4] 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子のほうが、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。[5] 身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあるのを見たが、中には入らなかった。[6] 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。[7] イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。」

マリアはイエスの体が盗まれたと思いましたが、ヨハネはおかしな事に気づきました。亜麻布が置いてあり、頭を包んでいた覆いは、離れた所に丸めてあったのです。もし死体が盗まれたのなら、布はなくなっているか、少なくとも散乱しているはずです。

当時、亡くなった人は亜麻の布でくるまれ、布の折り目に香辛料が挿しこまれていました。しかし、顔や首や肩上は、剥きだしのままにされました。そして頭は別の布でターバンのように包まれていました。

しかし、ヨハネは「亜麻布が置いてあるのを見た」と言っています。

「置いてある」とは、イエスの遺体があったその場所に置かれていたことを指します。

また、「置いてある」という言葉には、きちんと並べるという意味もあります。これは、正しい順番に並べたり、揃えたりされている書類をいうときの言葉と同じです。つまり、まるで体が消えたかのように、亜麻布が置いてあったのです。

聖書の解説者で牧師のジョン・ストットは、遺体は「蒸発した」と言いました。キリスト教学者のヘンリー・レーサムは、「跡形がなかった」ようだと言いました。チャールズ・K・バレットは、遺体は「消えたか、あるいは通り抜け、布がそこに残されていた」と言いました。

それだけではなく、ヨハネは「頭を包んでいた覆いは…離れた所に丸めてあった」と言っています。体と頭が消えてなくなった場合にはそうなることは予想できます。

でも、イエスの体はどうやって布を通り抜けたのでしょうか。肉体的によみがえりました。復活後に、イエスは弟子たちと食事を共にし、体に触れさせました。しかし、

ルカによる福音書 24 章で、エマオへ向かう途中にイエスは 2 人の弟子の前でパンを裂いて、姿を消しました。

ヨハネによる福音書 20 章では 2 度、戸に鍵がかかっていたのにイエスが部屋に入ってきたことがありました。

もしイエスが神で、万物を創造し、万物はイエスにあって成り立っているなら、こういったことは可能です。

もし空気もドアも服も私も、すべて同じ物でできていると言ったら、弟子たちはなかなか信じてもらえなかったかもしれません。

でも今日は、物理的な世界のすべては原子でできていることを知っています。そしてすべての原子は、陽子、中性子、電子という 3 つの亜原子粒子から成っています。

素粒子物理学によれば、すべての亜原子粒子、世界のすべての物は、20 種類未満の素粒子から成っていて、それらは常に動いています（石でさえも常に動いています）が、何かのエネルギーによって結びつけられています。

もしイエスにあってすべてが成り立っているのであれば、イエスこそがそのエネルギーをコントロールして、絶えず動いている粒子をひとつに結びつけているお方です。そうであるなら、イエスはドアであれ、空気であれ、布であれ、簡単にものを同化したり、別のものを通過させたりできます。

私たちが、イエスの復活した体を通してわかるのは、イエスは埋葬用の布を通り抜けて、それを残していったことです。

8-10 節にこうあります。

「[8] それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入って来て、見て、信じた。[9] イエスが死者の中から必ず復活されることを記した聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。[10] それから、この弟子たちは家に帰って行った。」

ヨハネは、埋葬用の布がそのまま置かれているのを見て信じました。その時はまだ復活を完全に理解していなかったかもしれませんが、遺体がないのは墓泥棒のせいではなく、神が何かをしたからだとわかっていました。そしてヨハネとペテロは墓を後にしました。

(3)主はよみがえられた

11-15 節

「[11] マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中をのぞくと、[12] イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が、一人は頭の方に、一人は足の方に座っているのが見えた。[13] 天使たちが、『女よ、なぜ泣いているのか』と言うと、マリアは言った。『誰かが私の主を取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。』[14] こう言って後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。[15] イエスは言われた。『女よ、なぜ泣いているのか。誰を捜しているのか。』マリアは、園の番人だと思って言った。『あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか、どうぞ、おっしゃってください。私が、あの方を引き取ります。』」

天使たちが何と言ったか注目してください。彼らは「女よ、なぜ泣いているのか」と言いました。天使たちが現れたとき、最初の言葉が**「なぜ泣いているのか」**だとは誰が想像したでしょう。
でも更に興味深いのは、復活したイエスの言葉も**「女よ、なぜ泣いているのか」**だったことです

これは、エデンの園で人が罪を犯した後に、神が人に言った最初の言葉を連想させます。その時も質問でした。神は、アダムとイブに「どこにいるのか」と尋ねられました。 違うのは次の点です。

アダムとイブは神を恐れて、姿を隠していた。
しかし、マリアは神を愛し、求めていた。

人間はどのようにして神から逃げる罪人から、神を求める罪人へと変わったのでしょうか。それはイエスを通してです。今、マリアはイエスを通して神の愛を知っているからです。

聖書によれば、神は私たちを神にかたどって造って、神の完全な愛と性質を示して、この世界を管理するために創造しました。しかし、神の言うことを聞く代わりに、人間はエデンの園で悪魔の言うことを聞いて、神よりも自分自身を信じようと決めました。これを罪と呼びます。その結果、私たちは神の愛と性質を示すことができなくなりました。

それでも、私たちは愛こそが持つべき一番大事な性質であることを知っています。しかし、私たちは神の完全な愛ではなく、自分の不完全な愛を信じているために、愛したいと思う数少ない人たち、両親、子供、配偶者でさえも愛せません。彼らと戦ってしまいます。世界で戦争が起こるのも全く不思議なことではありません。

私たちは、神の世界を神の愛で管理する代わりに、それを破壊する者、神の敵、になってしまいました。そして、神の世界を救うために、私たちを滅ぼさなければなりません。しかし、完璧な愛を持つ神は、どうして私たちを滅ぼして、殺すことができるのでしょうか。

神は私たちの元に来て、イエスを通して私たちがどのように愛するべきかを教えてくれました。

私たちの罪の罰を代わりに十字架の上で受けて、私たちを変えてくれると言ってくれました。

そして、十字架を見ると、次の事がわかります。
私たちがいかに罪深いかわかります。どれほど自分の罪が罰さられる必要があるかわかります。

神の完全な愛がわかります。敵のために死ぬ愛―私たちはそのような愛を持っていません。

私たちの罪がすべてイエスによって償われ、罪が取り消されたとき、イエスは死からよみがえりました。イエスの死が、私たちの罪の罰であることを受け入れ、イエスを信じることを決意すれば、私たちは赦され、神の聖霊が私たちの内に宿り、神の完全な愛によって神の子供に変えてくれます。

イエスの死と復活のおかげで、マリアは赦され、神が造られたように愛に満ちた神の子供になれました。私たちもそうです！私たちの罪がすべて償われため、罪が取り消されため、イエスがよみがえられたため、私たちは今喜ぶことができます！だからこそ、イエスはマリアに「なぜ泣いているのか」と尋ねたのです。

(4)私の父であり、あなたがたの父

16-17 節

「[16]イエスが、『マリア』と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、『ラボニ』と言った。『先生』という意味である。[17]イエスは言われた。『私に触れてはいけない。まだ父のもとへ上っていないのだから。私のきょうだいたちのところへ行って、こう言いなさい。『私の父であり、あなたがたの父である方、また、私の神であり、あなたがたの神である方のもとに私は上る』と。」

イエスの死と復活の後、イエスは今まで弟子たちを呼ばなかった呼び方をしました。「きょうだい」と呼びました。「私の父であり、あなたがたの父である方、また、私の神であり、あなたがたの神である方」と言いました。

イエスの死と復活のおかげで、神の子供たちとして、私たちの人生はまったく変わります。神とまったく新しい関係を持つことができます。神は、今は私たちの父です。イエスが地上にいたときも、神はイエスの父として共におられたことを思いだしてください。

イエスの必要はすべて満たされていました。パン 5 斤と魚 2 匹で 5 千人も食べさせることができました。

イエスはいつも平安がありました。嵐の中で眠り、水の上を歩くことができました。

イエスは、敵にひどい仕打ちをされても、敵を愛し救いを祈ることができました。そして、敵意にあっても、イエスは生きました。のちにイエスを信じるようになった敵も生きました。

私たちも同じです。イエスの父が私たちの父であり、イエスの神が私たちの神であるとき、すべてが変わります。
神は私たちの必要を満たします。
神は人生の嵐の中でも私たちに平安を与えてくれます。私たちを休ませたり、水の上を(比喩的に)歩かせたりすることができます。
神は、私たちが敵に敵対されても、敵を愛し、彼らの救いのために祈ることができるようにしてくれます。彼らの敵意にあっても、私たちは生きます。そして、のちに敵が神を信じるようになれば、彼らもまた生きるのです。

これが、イエスの復活を祝う理由です。イエスは「なぜ泣いているのか」と聞いています。死は克服されました。イエスの父は、私たちの父です。イエスの神は、私たちの神です。これを信じるか信じないかで、私たちの人生はまったく変わります。

もしあなたがまだイエスを救い主として受け入れていないなら、今日そうしてください。主はよみがえりました！

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール: cc@tokyobaptist.org
もしくは: https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1424jp

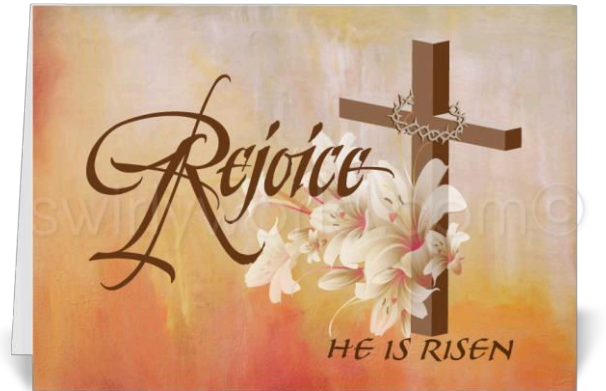
★クラス 301
自分の賜物発見クラス
1月 28 日(日) 1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月 18 日(日) 1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu



指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201